

大学教育における教授・学習過程と学生の 発達過程の関連（2）

教育心理のカリキュラムに関する検討

佐藤 公代

（教育心理学教室）

酒井 千尋

（学 生）

（平成15年10月23日受理）

The Teaching-Learning Process in University Education (2) Investigation of Educational Psychology's Curriculum

Kimiyo SATOU and Chizuru SAKAI

（問題と目的）

佐藤，内田（2001）は，内田の集中講義を量的，質的に分析し，学生の批判的思考力をみいだした。今後の5つの課題を行う前に教育心理のカリキュラム分析を行う必要性がでてきたので，そこから研究を進めることにする。

仮説は次の通りである。

- （1）各項目ごとに回生の反応の違いが表れるであろう。つまり，実体験者とそうでない被検者との間には，明らかな違いがみいだせるであろう。
- （2）回生があがるにつれ，教員免許取得とピーク制としての教育心理専修との両立に悩みをもつであろう。

（方 法）

- 1）調査時期：2002年2月
- 2）回答者：E 大学教育学部教育心理専修1 - 4回生，総計34名（1回生：男1名，女8名，計9名；2回生：男2名，女7名，計9名；3回生：女8名，計8名；4回生：男1名，女7名，計8名）。

3) 材料：佐藤が独自に作ったアンケート。

4) 手続き：各自1枚ずつ配布し、全員に回答を求めた。

(結果と考察)

表1に回生と指導教官決定時期のクロス表と理由を示す。

表1 質問1 卒論の指導教官決定時期

回生と指導教官決定時期のクロス表

			指導教官決定時期				合計
			1	2	3	4	
回生	1	度数	2		1	6	9
		回生の%	22.2%		11.1%	66.7%	100.0%
		指導教官決定時期の%	33.3%		20.0%	75.0%	26.5%
	2	度数	2	3	2	2	9
		回生の%	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	100.0%
		指導教官決定時期の%	33.3%	20.0%	40.0%	25.0%	26.5%
	3	度数		6	2		8
		回生の%		75.0%	25.0%		100.0%
		指導教官決定時期の%		40.0%	40.0%		23.5%
	4	度数	2	6			8
		回生の%	25.0%	75.0%			100.0%
		指導教官決定時期の%	33.3%	40.0%			23.5%
合計	度数	6	15	5	8	34	
	回生の%	17.6%	44.1%	14.7%	23.5%	100.0%	
	指導教官決定時期の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

理由

1 回生

卒業までに終わればいい。

よく分からない、想像できない。

3回生のときにどのくらいの授業数があるのか分からないので。

すべての教官の授業をうけてからの方が良い。

やはりとりかかりは早いほうが良いとは思っていますが、自分の学びたい分野が定まっていない時に振り分けるのもどうかと思います。

心理の卒論はかなり大変だと聞いているから、早い段階から準備したいから。

2 回生

3回生前期では教官を決定するのがまだ難しいように思うから。

やはりすべての先生の授業を体験してからのほうがよいため。

なるべく早く自分がしたいと思う専門分野を学びたいから。

卒論の調査が長期（例えば一年間）になるとき、早く始めたほうが良いから。

まだ何をするか決めていないので、3回生前期になるとテーマを決められない。

3 回生

3回生前期はまだ忙しいので（授業が）このままでよいと思う。

教育実習に行った後では心情の変化があるので、教育実習後にゼミ決めをしてほしかった。

4 回生

順調に進めることができたのでこのままで良い。

卒論の準備期間としてはちょうどいいのでは？教育実習との兼ね合いによりですかね。

卒論をするという意識がでてくるから。(授業も少なくなってる。)

ゼミの先輩と早めに仲良くなっておきたかった。

表1から、2回生の時期に決定してほしいという回答が44.1%と一番多かった。次に4回生(23.5%)、1回生(17.6%)、3回生(14.7%)の順に少なくなっている。現在は、3回生の後期からにしているが、学生はそれでは満足していないことになる。1回生は、4年次になってからという回答が66.7%と一番多く、2、3、4回生は、2年次になってからという回答がそれぞれ、33.3%、75%、75%と一番多い。1回生は、あと3年あるし、2、3、4回生になってくると、現実的に卒論がみえてきてあせるのかもしれない。

表2に授業の順番、前倒しとその理由について示す。

表2 質問2 授業の順番、前倒しについて

回生と前倒しのクロス表

		前 倒 し					合 計	
		1	2	3	4	5		
回生	1	度数	1	1	1	6		9
		回生の%	11.1%	11.1%	11.1%	66.7%		100.0%
		前倒しの%	14.3%	12.5%	33.3%	46.2%		26.5%
	2	度数	6	1	1	1		9
		回生の%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%		100.0%
		前倒しの%	85.7%	12.5%	33.3%	7.7%		26.5%
	3	度数		3		2	3	8
		回生の%		37.5%		25.0%	37.5%	100.0%
		前倒しの%		37.5%		15.4%	100.0%	23.5%
	4	度数		3	1	4		8
		回生の%		37.5%	12.5%	50.0%		100.0%
		前倒しの%		37.5%	33.3%	30.8%		23.5%
合計	度数	7	8	3	13	3	34	
	回生の%	20.6%	23.5%	8.8%	38.2%	8.8%	100.0%	
	前倒しの%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

理由

1 回生

高校の時の勉強で忘れる部分が少ないから。

やってみないことには何ともわかりません。

まだ一通り受けたことがないから。

2 回生

1回生前期はほとんど心理学らしい講義がないように思うから。

2回生になってから負担が大きくなるので、授業の少ない1回生のうちに心理の授業をしたほうが余裕があると思います。

できれば英語を忘れないうちにしてほしい。

早く専門的なことを学びたいと思うから。

3 回生

英語を3回生ですることはよいことだと思う。

1回生の前期は暇なので心理の授業があったら嬉しい。

調査法 実験法がいいと思います。調査法は通年がいい。

調査法にもっと時間をかけてもいい。半期だけというのがきびしい。

4 回生

上のようなカリキュラムはいいような気がしますが、よくわかりません。

「心理学文献講読」(1回生)、「検査法」(2回生前期)、「実験法」(2回生後期)、「調査法」(3回生前期)、「心理学演習(英語)」(3回生後期)の順に学習することになっていて、2003年(平成15年)入学の1回生の「心理学文献講読」は、後期から前期に変わる。ここで、一番多かったのは「わからない」(38.2%)、ついで、「今まで通りでよい」(23.5%)、「他の科目も前倒しにしてほしい」(20.6%)、「心理学演習(英語)を1回生の前期にしてほしい」(8.8%)の順に少なくなっている。1回生は当然ながら「わからない」(66.7%)、2回生は、「他の科目も前倒しにしてほしい」(66.7%)、3回生は「今まで通りでよい」(37.5%)、4回生は「わからない」(50%)が多かった。教官が前倒しを希望していない限り変えることは難しいであろう。卒論指導教官決定の時期ともからませて、前倒し案については、筆者自身乗り気なのであるが、肝心の担当教官が、変化を望まなかったり、指導教官にあまりなりたがらなかったりする場合は、変化はむずかしいであろう。卒論指導教官決定要因についての研究を検討中である。

表3に毎週提出のレポートとその理由について示す。

「検査法」「実験法」「調査法」のレポートは毎週、提出することになっている。「大変であるが、心理学が勉強できて充実感を覚える」という回答が52.9%と一番多く、2, 3, 4回生

表3 質問3 毎週提出のレポートについて

回生とレポートのクロス表

			レポ ー ト				合 計
			1	2	3	4	
回生 1	度数		1	1	6	1	9
	回生の%		11.1%	11.1%	66.7%	11.1%	100.0%
	レポートの%		5.6%	33.3%	54.5%	50.0%	26.5%
2	度数		5	1	2	1	9
	回生の%		55.6%	11.1%	22.2%	11.1%	100.0%
	レポートの%		27.8%	33.3%	18.2%	50.0%	26.5%
3	度数		7		1		8
	回生の%		87.5%		12.5%		100.0%
	レポートの%		38.9%		9.1%		23.5%
4	度数		5	1	2		8
	回生の%		62.5%	12.5%	25.0%		100.0%
	レポートの%		27.8%	33.3%	18.2%		23.5%
合計	度数		18	3	11	2	34
	回生の%		52.9%	8.8%	32.4%	5.9%	100.0%
	レポートの%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

理由

1 回生

毎週レポートはいやだ。義務になったら嫌いになりそうだから。
やればためになることで良いと思いますが、毎回なのでなあなあになってしまうのであれば、どうかと思います。
毎週レポートを提出するような授業をうけたことがないので。
レポートの内容や枚数にもよるが、他の教科の勉強もしたいため、毎週はしんどいと思う。

2 回生

心理の勉強はできてとても良いが、他の教科の勉強と合わせると非常にきついものがある。でも本当に大変です。
心理学を学ぶことが目的で大学に来ているはずだから。
その都度レポートを出したほうが自分のためになる。
心理の授業数が少ないので。
精神的負担が大きいので少しうつつになるが勉強になる。

3 回生

自分なりに勉強する時間が増えてよい。
大変ではあるが、自分には必要なことなのでレポートを出してもらう方がありがたい。
当時はすごくしんどかったけれど、今となってはいい思い出。やってよかったと思う。

4 回生

隔週くらいがちょうどよいと思う。
ためになりました。
レポート(卒論)を書く練習にもなるのではと思います。
毎週は少しきついかもかもしれません。他の授業とのかねあいもあったので。
個人の課題とはいえ、いつもみんなと協力できてよかった。

の回答もそれぞれ、55.6%、87.5%、62.5%と多いが、1回生では「わからない」(66.7%)となっている。これは、実際、レポートを書いて、心理学の学習に同一性を覚え、達成感を味わっているのであろう。「しんどいので、心理学の勉強をやめたいと思う」は、1、2、4回生で、それぞれ、11.1%、11.1%、12.5%と1人ずつ回答している。これは、不安傾向の強い人なのでであろう。

表4に検査法隔年開講とその理由について示す。

表4から、「同じ回生の人だけでやりたい」という回答が61.8%と一番多く、2、3回生が、それぞれ、77.8%、87.5%と多い。1、4回生は、「別な回生の人と一緒にでもよい」が、それぞれ、55.6%、50%と多い。これは、経験者と未経験者の違いの回答である。教官の都合もあるので、すぐに変更できるものではないので様子を見ていくほかないであろう。

表5に教育心理専修生になり、心理学教室に所属してとその理由を示す。

表5から「よかった」が70.6%とどの回生でも多く、ついで「非常によかった」(17.6%)となり、「どちらでもない」は、1回生で66.7%、2回生で11.1%であるが、「よくなかった」「全くよくなかった」は誰もおらず、ほっとしている。

表6に心理学関係の授業を増やすかどうかとその理由を示す。

表6から「ふやしてほしい」は73.5%と一番多く、2、3、4回生が、それぞれ、88.9%、

100% , 75%と多い。1回生は「わからない」(44.4%)が多い。「へらしてほしい」はどの回生にもなかった。それは当然のことであろう。

表4 質問4 検査法隔年開講について

回生と検査法のクロス表

			検査法			合計
			1	2	3	
回生	1	度数	4	5		9
		回生の%	44.4%	55.6%		100.0%
		検査法の%	19.0%	45.5%		26.5%
	2	度数	7	1	1	9
		回生の%	77.8%	11.1%	11.1%	100.0%
		検査法の%	33.3%	9.1%	50.0%	26.5%
	3	度数	7	1		8
		回生の%	87.5%	12.5%		100.0%
		検査法の%	33.3%	9.1%		23.5%
	4	度数	3	4	1	8
		回生の%	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%
		検査法の%	14.3%	36.4%	50.0%	23.5%
合計	度数	21	11	2	34	
	回生の%	61.8%	32.4%	5.9%	100.0%	
	検査法の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

理由

1回生

別にこだわらないです。
同回生の人とのほうがやりやすいと思う。
お互いにやりづらと思います。
多様な考え方が知れるから。

2回生

同じ回生とかということなどではなく、教室が狭く、大変窮屈に感じるので人数を減らすか、広い教室を確保してほしい。
3回生と同じで嫌だなと思ったのも事実ですが、逆に授業に緊張感があった。
少人数でしたほうがいいです。
先輩とは知識の差があるので質問しにくい。
別の回生と知り合う機会が少ないから。

3回生

まだなんとなくなじめない。
人数が多い方がおもしろいから。
同じ回生だけのほうが、先生に質問しやすい。
人数が少ないほうがいい。
今年やってみてすごくやりづらかったから。

4回生

あまり多人数だと難しい部分もあるのかなという気がしています。
意見など言いやすいから。
いろいろな回生の人と話をすると、考えが深められます。

表５ 質問５ 心理学教室に所属して

回生と所属してのクロス表

		所 属 し て			合 計
		1	2	3	
回生	1	度数	6	3	9
		回生の%	66.7%	33.3%	100.0%
		所属しての%	25.0%	75.0%	26.5%
	2	度数	1	7	1
	回生の%	11.1%	77.8%	11.1%	100.0%
	所属しての%	16.7%	29.2%	25.0%	26.5%
	3	度数	3	5	8
	回生の%	37.5%	62.5%		100.0%
	所属しての%	50.0%	20.8%		23.5%
	4	度数	2	6	8
	回生の%	25.0%	75.0%		100.0%
	所属しての%	33.3%	25.0%		23.5%
合計	度数	6	24	4	34
	回生の%	17.6%	70.6%	11.8%	100.0%
	所属しての%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

理由

1 回生

今の段階ではあまりおもしろくないと感じる。
 まだなんともいえません。
 心理学を勉強してみたかったから。
 先生方や先輩も優しく充実しているが、免許のない専修なので卒業後にひびかないか心配である。

2 回生

心理について深く学ぶことができるので。
 まだよくわかりませんがそれでも一番学びたいものだから。
 大学でしか学べないことなので。
 心理の授業が少ない。

3 回生

好きなことが勉強できてやりがいがある。
 心理学の勉強をしたかったから。

4 回生

自分のためになりました。
 当初の希望通りであり、内容にもやはり興味があって来ていたものがあったので良かったです。

表6 質問6 心理の授業を増やすかどうか

回生と授業時数のクロス表

		授 業 時 数			合 計	
		1	2	4		
回生	1	度数	3	2	4	9
		回生の%	33.3%	22.2%	44.4%	100.0%
		授業時数の%	12.0%	40.0%	100.0%	26.5%
	2	度数	8	1		9
		回生の%	88.9%	11.1%		100.0%
		授業時数の%	32.0%	20.0%		26.5%
	3	度数	8			8
		回生の%	100.0%			100.0%
		授業時数の%	32.0%			23.5%
	4	度数	6	2		8
		回生の%	75.0%	25.0%		100.0%
		授業時数の%	24.0%	40.0%		23.5%
合計	度数	25	5	4	34	
	回生の%	73.5%	14.7%	11.8%	100.0%	
	授業時数の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

理由

1 回生

2回生から増えそうだし……。
 選択できるような授業が多いといいと思う。
 どちらでもいいけれど内容がよくなればいい。
 まだなんともいえません。
 1回生のうちにもっと多くの心理学を勉強したかった。

2 回生

少ないとは思わないが、もう少し選択肢があってもよいのではないかと思うため。
 もっと専門知識を深めたい。
 もっと心理学をしたい。そうすれば副免とらなかつたかも。

3 回生

半期に1時間くらいしかない(特に1, 2回生のときは)のもっと増やして欲しい。
 統計についての授業などを増やしてほしい。また、心理の授業を増やしてほしい。他教科に比べてあまりにも少ない。
 少なすぎる。統計の授業、臨床心理学の授業をもっと学校で学びたい。
 絶対に少ないと思う。基礎をしっかり学びたい。

4 回生

院に行く人(自分はそのようだった)にとってはいろいろな授業を受けたいと思う。
 他との兼ね合いもあるとは思いますが心理のことを考えれば、もっとあってほしいかなという気がしています。
 専門的なことをあまりやっておらず、わからないことがまだ多いので。
 臨床心理士の資格をとるための勉強が院からではなく学部の授業であってもよいと思う。

表7 自由記述

1 回生

「心理学を学びたい!」という気持ちで入学したのに、1回生ではほとんど専門的なことを学ぶ機会が少ないので少しものたりません。

他の大学でもよくあるように、教育心理学専修を教員養成課程ではなく、0免課程にしてほしい。

2 回生

心理についてもっと深く学びたいのですが、今のところ大まかで基本的なことばかりなので、もっと専門的なこともしたいです。

心理学の授業は少なくせっかく心理学を専攻しても学ぶ内容が限られていると思う。また少ない時間で多くの学習内容についていけない部分が多い。

3 回生

調査法が後になったのはいいと思う。

4 回生

卒論について、上質紙で提出せねばならなかったが、形式としては「OA用紙」とあった。なぜでしょうか。リサイクル用紙は環境によいので、それを使用すると良いのではないかと思いました。

もっとしっかり勉強しておけば良かったと後悔しています。でも心理に関われたことが嬉しいです。ありがとうございます。授業おもしろかったです。

表7に自由記述を示す。

表7から回生ごとの特徴があらわれているのは興味深い。

以上から、仮説(1)(2)は支持される。

(今後の課題)

今回は網羅した形での調査だったので、今後はきめ細かい調査をして、学生の意識との関わりの中で考察していきたい。

(引用文献)

佐藤公代 内田伸子 2001 大学教育における教授・学習過程と学生の発達過程の関連 - 集中講義の授業評価による教授・学習過程の検討 - 愛媛大学教育学部紀要 第1部 教育科学 第47巻 第2号 1 - 20

(注)文章作成とアンケート作成は佐藤公代、データ整理と考察に加わったのが酒井千尋氏である。

